

## 一 諸鬼神等 揚声大叫の事

仰せに云はく、諸鬼神等と云ふは、親類部類等を鬼神と云ふなり。我等衆生死したる時、妻子眷属あつまりて悲歎するを揚声大叫とは云ふなり。文句の五に云はく「諸鬼神等より下第四に一行半は、被<sup>ひ</sup>焼<sup>しょう</sup>の相を明かす。或は云はく、親属を鬼神と為し、哭泣<sup>こくきゅう</sup>を揚声と為す」と。